

2 0 2 7 年 度

神 戸 女 学 院 大 学 大 学 院
音 楽 研 究 科 修 士 課 程

入 学 試 験 要 項



神 戸 女 学 院 大 学

目 次

ミッションステートメントと3つのポリシー	1
2027年度 大学院音楽研究科修士課程学生募集要項	
1. 定員、専攻等	3
2. 出願資格	3
3. 全体スケジュール	3
4. 入学試験について	3
〔Ⅰ〕スケジュール・試験科目	3
〔Ⅱ〕試験科目詳細	4
〔Ⅲ〕判定方法	5
〔Ⅳ〕試験会場	5
5. 出願について	6
〔Ⅰ〕志願票・受験票の記入	6
〔Ⅱ〕入学検定料の納入	7
〔Ⅲ〕出願書類の郵送・提出期間	7
6. 判定結果通知	9
7. 入学手続きと納付金について	9
〔Ⅰ〕入学手続き	9
〔Ⅱ〕納付金	9
〔Ⅲ〕入学辞退	9
神戸女学院大学大学院音楽研究科概要	10
学校案内図	14

神戸女学院大学大学院

*ミッションステートメント

神戸女学院大学大学院は、学ぶ者と働く者が共に学院標語「愛神愛隣」に基づくキリスト教の精神を分かち合い、時代の潮流に流されることなく、置かれた場で、利害を超え、自らの役割を感知し、果たし、人にとって真に大切なものを見分ける、共感性の高い人格への成長を目指します。

*ディプロマ・ポリシー

神戸女学院大学大学院は、キリスト教主義の伝統ある女性高等教育機関として、学院標語「愛神愛隣」に基づいて、置かれた場で時代の潮流に流されることなく利害を超えて自らの役割を果たす、他者と深く共感する人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、学位論文・最終試験を含む修了要件を満たした人に対して修士の学位を授与します。

- 1 高度な専門的なものの見方や表現力、専門的技術を体系的に備え、専門的技術を活かした教育・研究キャリアに従事する能力
- 2 共感性の高い人格的教養を備え、専門領域の知識や技術を有効に社会に還元する能力
- 3 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造する能力
- 4 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理的意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くす能力

また、上記のような人格に必要な以下の能力を修得し、学位論文・最終試験を含む修了要件を満たした人に対して博士の学位を授与します。

- 1 専門領域のより深い知識と思考力を備え、自立した研究者、指導者としての能力
- 2 主体的に学び続ける姿勢を備え、新たな企画を創造する能力
- 3 様々な他者と交流できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理的意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くす能力

修士、博士の学位に伴う学位論文の審査あるいは最終試験においては、公開発表会を行います。

*カリキュラム・ポリシー

神戸女学院大学大学院は、ディプロマ・ポリシーに定めた人格を養成するために、文学研究科（博士前期・後期課程）、人間科学研究科（博士前期・後期課程）、音楽研究科（修士課程）を置き、次のような方針に基づいて教育科目を設定します。

- 1 学生が高度な専門的学術理論・技術を修得し、研究することができるようになるための科目を設定すること（専門科目）
- 2 学生が社会に貢献するために必要なキリスト教精神を育むための科目を設定すること（キリスト教学）
- 3 学生が文化・思想・科学の進歩に寄与する独創性、論理的思考力、表現力を獲得するための科目を設定すること（演習科目）

教育課程については、体系的・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

*アドミッション・ポリシー

本学大学院のミッションステートメントとディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーをよく理解し、それぞれの研究科・専攻の教育課程を履修するために必要な学力を備えた人を受け入れます。その目的を達成するため、入学試験を下記の通り実施します。

博士前期課程、修士課程

- 1 高度な専門的知識を深く修得することを志す人
- 2 修得した技能を活かし、より善い社会の実現を志す人
- 3 他者への共感性を備え、隣人に仕えることを志す人

全ての研究科において、高度な専門的知識を獲得するのに必要な学力（外国語の能力、思考力・表現力）を備えた人を広く受け入れるために、一般入学試験（秋季（全研究科）と春季（文学研究科、人間科学研究科））を実施します。また、文学研究科および人間科学研究科では本学の学部教育に引き続き学びたい人を受け入れるために、内部推薦入学試験（夏季）を実施します。

神戸女学院大学大学院音楽研究科

＊ディプロマ・ポリシー

大学院3ポリシーのもと、音楽研究科では、ひとりの芸術家として時代の潮流に流されることなく利害を超えて自らの役割を果たす、音楽を通して他者と深く共感する人格を養成します。

そのような人格に必要な以下の能力を修得し、修了要件を満たした人に対して修士（音楽）の学位を授与します（A. 修士作品・修士副論文、または修士演奏・修士副論文。あるいはB. 修士作品・最終試験、または修士演奏・最終試験）。

- 1 プロフェッショナルな芸術観や音楽表現技術を体系的に備え、それらを活かした研究者、作曲家、演奏家、指導者になる能力
- 2 音楽の持つ共感力を理解する人格的教養を備え、音楽の知識や音楽で表現する事の素晴らしさを自らの実践によって社会に伝える能力
- 3 芸術について主体的に学び続ける姿勢を備え、音楽活動の新たな企画を創造する能力
- 4 音楽を通じてさまざまな共演者や聴衆と交流、交感できる優れたコミュニケーション力と社会の一員としての高い倫理的意識を備え、愛と奉仕の精神で人々に尽くす能力

音楽研究科では上記のような能力を修得して所定の単位を取得すること。その際に、音楽研究科修了試験において公開演奏会の形式で修了演奏または修了作品を発表し、専門教員全員と外部から招聘した審査員による評価を受けることが求められます。

優秀な成績を収めた学生には、学外で開催する修了披露演奏会に出演・発表する機会が与えられます。

＊カリキュラム・ポリシー

大学院3ポリシーのもと、音楽研究科（修士課程）では、本研究科ディプロマ・ポリシーに定めた人格を養成するために音楽表現専攻を置き、専門分野・研究領域として作曲、声楽、器楽（ピアノ、オルガン、チェンバロ、弦・管・打、ハープ）を含みます。

本専攻は、次のような方針に基づいてカリキュラムを編成します。

- 1 学生の専門分野・研究領域ごとに個人指導の形態をとる科目（研究領域実技）や、すべての専門分野に開放されている選択科目（音楽表現各論、音楽表現特別実習）、また修士副論文等の指導科目（課題研究）を編成すること
- 2 キリスト教主義に支えられた西洋音楽芸術を、学生がより深く理解する科目を設定すること（キリスト教教学、キリスト教音楽）
- 3 学生が専門分野・研究領域の枠を越えて広い視野から多角的に音楽芸術表現を研究する科目（音楽表現総合研究）や、分野に共通する課題について公開授業の形態で意見交換、討論、研究発表を行う科目（専門分野特論）を編成すること

教育課程については、体系性・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。

＊アドミッション・ポリシー

大学院3ポリシーのもと、音楽研究科では、本研究科ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーをよく理解し、本研究科音楽芸術表現専攻の教育課程を履修するために必要な学力を備えた人を受け入れます。

- 1 音楽分野で高度な専門的技術や知識を深く修得することを志す人
- 2 修得した音楽分野の高い能力を活かし、芸術の力によってより善い社会の実現を志す人
- 3 他者への共感性を備え、音楽家として隣人に仕えることを志す人

音楽研究科においては、高度な専門的技術と知識を獲得するのに必要な能力（外国語の能力、思考力、音楽表現力）を備えた人を広く受け入れるために、一般入学試験（秋季）を実施します。
本研究科の入学試験では、専門分野ごとに定められた実技試験と共通の筆記試験を課します。

2027年度 神戸女学院大学大学院 音楽研究科（修士課程）学生募集要項

1. 定員、専攻等

専 攻	専門分野	研究領域	入学定員
音楽芸術表現専攻	創造芸術分野	作曲	7 名
	演奏芸術分野	声楽	
		※器楽	

※器楽には、ピアノ・オルガン・チェンバロ・管弦打楽器・ハープを含みます

2. 出願資格

本大学院音楽研究科への出願は、次の各項のいずれかに該当している女子のみに認められます。

- (1) 大学を卒業した者、または2027年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2027年3月修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

3. 全体スケジュール

内 容	日 程	参照
出願期間 (郵送のみ、締切日消印有効)	9/7 (月) ～ 9/24 (木)	P.6
入学試験日	10/20 (火) ・ 10/21 (水)	P.3
判定結果通知 (郵送)	10/26 (月) 発送	P.9
入学申込金納入期限	11/9 (月)	P.9
授業料等納入期限	2027年 3/24 (水)	P.9

4. 入学試験について

〔I〕スケジュール・試験科目

			研究領域		
			作 曲	声 楽	器 楽
日 時	10/20 (火)	13:30 ~ (※)	口頭試問 (★)	実 技 試 験 (★)	
	10/21 (水)	9:00 ~ 10:30	西 洋 音 楽 史		
		11:00 ~ 12:30	英 語		
		13:30 ~	面 接		

※志願者数によって開始時間が前後する場合があります。

★「集合時刻」は各受験生により異なります。出願受付後、郵送にてお知らせします。

〔Ⅱ〕試験科目詳細

本研究科入学試験は、①研究領域実技課題 ②学科目（英語、西洋音楽史）③面接から成ります。

① 研究領域実技課題

<創造芸術分野>

研究領域	課題の内容
作曲	1. 作品提出 （事前提出課題） ・ 2 作品の楽譜を出願時に提出。 ・ 演奏音源、映像資料等がある場合には、CD・DVD・USB 等の記録メディアを楽譜に添えて提出すること。 2. 口頭試問

<演奏芸術分野>

研究領域	実技試験の内容
声楽	15分程度のプログラムを組み、演奏すること。ただし、下記を必ず含むこと。 ① バロック時代の作品 ② ロマン派以降の歌曲 ③ W. A. Mozart 以降のオペラ・アリア（コンサートアリアを含む） ※伴奏の、前奏・間奏・後奏はカットしても構いません。
器楽	ピアノ 古典派の作品を含む、30分程度のプログラムを組み、演奏すること。
	オルガン 1. バロック・ロマン派・近現代の各時代の作品を含む20-30分程度のプログラムを組み、演奏すること。 2. J. S. Bach: Sonata 第1番-第6番 BWV525-530 より、第1楽章または第3楽章。 ※アシスタントが必要な場合には事前に音楽学部事務室に連絡してください。
	チェンバロ J. S. Bach の作品を含む、20-30分程度のプログラムを組み、演奏すること。 ※繰り返しはしないでください。 ※願書提出の際、演奏曲の譜面コピーを必ず提出してください。 その際、作曲家・曲名・出版社を明記してください。
	弦楽器 3つの異なる時代の作品を含む、25分程度のプログラムを組み、演奏すること。
	管楽器 2つの異なる時代の作品を含む、25分程度のプログラムを組み、演奏すること。
	打楽器 2つの異なる時代の作品を含む、25分程度のプログラムを組み、演奏すること。 ただし、以下の条件を満たすこと。 ① 小太鼓またはティンパニーを使った作品 ② 鍵盤打楽器を使った作品
	ハープ 2つの異なる時代の作品を含む、25分程度のプログラムを組み、演奏すること。

[注意事項]

暗譜・・・暗譜で試験を行います。ただし、オルガン・チェンバロは楽譜を見ても構いません。

伴奏者・・・必要場合は、受験生各自が同伴してください。

当日練習・・・30分程度可能です。オルガン・チェンバロは試験に使用する楽器の試奏ができます。

演奏・・・当日時間の都合により、省略およびカットすることがあります。可否には関係ありません。

楽器の貸出・・・コントラバス・ユーフォニアム・チューバ・ハープ・打楽器等、本学所有の楽器の使用を希望する者は、出願期間中に音楽学部事務室に申し出ること。

楽器の搬入・・・大型の楽器で搬入のために車を乗り入れる場合は、事前に音楽学部事務室まで連絡すること。

② 学科目

研究領域	課題の内容
全領域共通	A. 英語 ・90分間の読解力試験。 ・辞書は、本学が当日準備するものを使用すること。個人の持ち込みはできません。 B. 西洋音楽史 ・90分間の試験。

③ 面接

研究領域	内容
全領域共通	15分程度。

〔Ⅲ〕 判定方法

① 実技試験

部門の専門性を持つ採点者が原則5名以上で審査し、上下カットの上平均した点数とする。

② 英語・西洋音楽史

複数の採点者により採点し二重の確認を行った上、ABCDEの5段階で評価する。

〔Ⅳ〕 試験会場

神戸女学院大学 音楽学部 (P14 学校案内図をご参照ください)

5. 出願について

本学音楽研究科入学試験への出願は、〔Ⅰ〕志願票・受験票の記入〔Ⅱ〕入学検定料の納入〔Ⅲ〕出願書類（①「志願票・受験票」②成績証明書 ③個人カード）の郵送を、順に行ってください。

※障がいがあり、受験に際して配慮が必要な場合は、
出願に先立ち、音楽学部事務室までご相談ください。

〔Ⅰ〕志願票・受験票の記入

「志願票・受験票」用紙は、(A)，(B)，(C)，(D)の各票から構成されています。文字は楷書、数字は算用数字(1,2,...)で明瞭に、黒の油性ボールペンで記入してください。また、該当箇所は○で囲んでください。

必要な記入項目		該当する票	注意事項
1	志望専攻	(A)(B)	希望する研究領域（作曲・声楽・器楽）を○で囲んでください。 ※声楽を選択した場合、 <u>声域</u> （ソプラノ・メゾソプラノ・アルト）も記入してください。 ※器楽を選択した場合、 <u>楽器名</u> を記入してください。
2	志願者氏名	(A)(B)(C)(D)	志願者の本名を楷書で丁寧に記入してください。 ※外国籍の者が通称を用いる場合は、「登録原票記載事項証明書」に記載されている通称名に限ります。
3	氏名フリガナ	(A)(B)	カタカナで記入してください。
4	生年月日	(A)	元号と西暦の両方を記入してください。
5	志願者への連絡先住所	(A) (D)	志願者本人の郵便番号・住所・電話番号を記入してください。 ここに記載の住所宛に、受験票および判定結果通知書を送付します。 ※「市」の場合、都道府県は省略してください。 ※番地は算用数字で記入してください。「丁目・番地」の代わりに、ハイフン「―」を使用してください。
6	受験曲目	(A)	上から演奏順に、記入してください。 ※作品番号・楽章・調性等、不足なく記入すること。
7	出身校	(B)	志願者の出身校（大学名・学部・学科・専攻）を記入してください。
8	先方銀行欄	(D)	振込先銀行（本学の口座）に丸をつけてください。
9	写真 縦4 cm×横3 cm	(A)(B)	正面・上半身・無帽で、背景は無地のもの。白黒、カラーは問いません。裏面に氏名を明記して貼り付けてください。 ※最近 <u>3ヶ月以内</u> に撮影したものに限りします。

[記入上の注意]

- (1)※印が書いてある欄には、何も記載しないでください。
- (2)必ず自筆で記入してください。

誤記をした場合は、①訂正箇所に二重線を引き、②該当箇所に押印、
③近くのスペースに正しい内容を記入してください。

P 8 の記入例も参照すること

〔Ⅱ〕入学検定料の納入

入学検定料・・・・・・・・・・35,000円

※上記検定料には、消費税は課されません。

銀行等、金融機関の窓口からの振り込みに限ります。ただし、郵便局（ゆうちょ銀行）からの振り込みはできません。また現金自動預け払い機（ＡＴＭ）やインターネットバンキングなど、窓口以外からの振込は受け付けられません。

1. 前頁〔Ⅰ〕**志願票・受験票**の記入を参考に、「**志願票・受験票**」(A)・(B)・(C)・(D)各票の必要事項をすべて記入してください。
2. 各票を切り離さずに、入学検定料と振込手数料を添えて金融機関の窓口に出します。
3. 振り込みが完了後、(D)票は金融機関に回収され、(A)・(B)・(C)票を受け取ります。
4. 受け取った(A)・(C)票に金融機関の収納印があることを確認してください。

※収納印がない場合は、振り込んだ金融機関で押印してもらってください。

(A)票・(B)票を出願書類に同封します。(C)票は領収書です。本人が大切に保管してください。

〔Ⅲ〕出願書類の郵送・提出期間

提出先・・・・神戸女学院大学 音楽学部事務室 宛

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4番1号

期 間・・・・2026年9月7日（月）～9月24日（木）（消印有効）

方 法・・・・本学所定の封筒を使用し、「書留速達」での郵送に限ります。

以下の提出書類3点を同封すること。

<提出書類>

書 類 名		内 容
1	「 志願票・受験票 」 (A)票・(B)票	本学所定の用紙。(A)票・(B)票のみを同封すること。 ※(A)票に、金融機関の収納印があるか確認すること。 ※(C)票を各自で保管、(D)票は検定料納入時に金融機関が回収
2	成績証明書	出身大学の 成績証明書 。 ※本学卒業見込み生（在学生）は証明書発行機で発行可能です。 本学卒業生は教務課にお申し込みください。
3	個人カード	本学所定の用紙。 ※継続中の学歴・職歴については、終了年月の代わりに「在学中」「在職中」「現在に至る」等を明記してください。

★作曲研究領域の志願者は、作品提出の楽譜・資料を同封すること（P.4参照）

[注意点]

1. 書類に不備がある出願は、受け付けられません。郵送前によく確認してください。
2. 出願後、志願票の内容変更は一切認められません。
3. 一旦納入された入学検定料、および提出書類は返還しません。

志願票・受験票記入例

(A)

2027年度 神戸女学院大学大学院 音楽研究科（修士課程）志願票

志願者氏名	フリガナ	姓	名	生年	月	日	受験番号	※
	漢字			2003	11	15	910	

〒662-8505 西宮市岡田山4-1 岡田山マンション201

電話番号 0798・52・0955

縦4cm × 横3cm

裏面に氏名を明記し貼付すること。

(B)

2027年度
神戸女学院大学大学院
修士課程 受験票

裏面の注意書きをよく読むこと ※は記入不要

受験番号	※	第	番
音楽芸術表現専攻			
専門分野	創造芸術	演奏芸術	
研究領域	作曲	声楽	器楽
氏名	神戸花子		
フリガナ	コウベ ハナコ		
出身校	神戸女学院 大学		
	音楽 学部		
	音楽 学科		
	器楽 専攻		

写真

縦4cm × 横3cm

裏面に氏名を明記し貼付すること。

(C)

2027年度
神戸女学院大学大学院
音楽研究科（修士課程）
入学試験検定料
領収書

受取人	学校法人 神戸女学院	金額	¥35,000
志願者氏名	神戸花子	整理番号	905001

本人保管

整理番号 905001

(受付銀行→本人)

(D)

神戸女学院大学大学院
音楽研究科（修士課程）入学試験検定料
振込依頼書 電信扱 科目 ※

依頼日	(西暦) 年 月 日	振込指定	電信扱	手数料	※	金額	¥	3	5	0	0	0					
先方銀行	① 三菱UFJ銀行 西宮支店	普通	1	1	1	3	8	2	0	金	額	¥	3	5	0	0	0
	2 三井住友銀行 甲東支店	普通	3	9	4	0	5	1	2	現	金						
受取人	口座名	ガク) コウベジョガクイン															
	学校法人	神戸女学院															
整理番号	905001																
志願者	(カタカナ) 氏名	コウベ ハナコ															
	(漢字) 氏名	神戸 花子															
	〒	662-8505															
	住所	西宮市岡田山4-1 岡田山マンション201															
	☎	(0798) 52 - 0955															

銀行取扱期間 (期間外取扱不可)

2026年 9月 7日から
2026年 9月 24日まで

(受付銀行保管)

※振込手数料について：先方銀行のうち、三菱UFJ銀行の本支店では、手数料は無料です。

6. 判定結果通知

2026年10月26日（月）に、志願者全員に判定結果を郵送します。

合格者には、入学手続関係書類を同封します。電話による可否の問い合わせには一切応じません。

7. 入学手続きと納付金について

〔Ⅰ〕入学手続き

入学を許可された者は、以下の手続きを行ってください。

①2026年11月9日（月）までに、入学申込金を納入してください。

②Web入学手続を完了してください。

③判定結果通知に同封されている必要書類を、提出してください。

※詳細は、入学手続関係書類に記載します。

※入学申込金（入学金と同額）は、授業料・その他の諸費の納入と同時に入学金として取り扱います。

上記の手続を行わない場合は、入学許可を取り消します。

〔Ⅱ〕納付金（2027年度）

授業料・教育充実費・演習費は、半額分（前期分）を2027年3月24日（水）までに納入してください。

	初年度 納付金総額	入学手続時 納付金	納入期限
入 学 金	200,000円	200,000円	<u>2026年11月 9 日</u>
授 業 料	843,000円	421,500円	<u>2027年 3 月24日</u>
教育充実費	378,000円	189,000円	
演 習 費	200,000円	100,000円	
合 計	1,621,000円	910,500円	

※上記納付金には、消費税は課されません。

[注意事項]

(1)入学金は初年度のみ徴収します。

(2)神戸女学院大学卒業後本大学院に入学する者は、その入学金を半額（100,000円）とします。

(3)他にめぐみ会（同窓会）入会金10,000円（本学院出身者は不要）を後期に徴収します。

(4)いったん納入された入学申込金は、返還しません。

〔Ⅲ〕入学辞退

入学手続完了後、文書にて入学辞退届を提出〔2027年3月31日（水）必着〕した場合は、授業料・教育充実費・演習費の前期分相当額のみ返還します。

神戸女学院大学大学院概要

音楽研究科音楽芸術表現専攻 修士課程

■ 音楽研究科音楽芸術表現専攻の構成

音楽研究科は音楽芸術表現の1専攻とし、①創造芸術、②演奏芸術の相互に関連した2つの専門分野を置く。本研究科では個々の専門分野の研究を深化させるとともに、相互に有機的関連を保ちつつ教育・研究を総合的に展開することを目指して1専攻としている。これら2つの専門分野では次のような教育・研究を行う。

【専門分野】

①創造芸術：作曲研究領域の1研究領域をおき、もっとも創造的であるといえる「作曲」という音楽芸術表現を研究する。自らは音を発しない「作曲」という行為は「演奏」という音を発する音楽行為が不可欠であり、それと深く結びついていることを常に認識し、「演奏」と深くかわりながら、創造的な芸術作品創作のために必要な知識、技術を追求する。

②演奏芸術：⑤声乐研究領域と⑥器楽研究領域の2つをおき、音を自ら発する「演奏」という音楽芸術表現を研究し、必要な知識、技術を習得する。「演奏」には演奏されるべき作品が不可欠であり、「作曲」という音楽行為と深く結びついていることを常に認識し、そして演奏芸術行為が単に作曲家の意図の再現行為ではなく、そこに自己をいかに顕在させるかを追及していく。

⑤声乐研究領域

「歌う」という行為は、音楽の歴史においても、人類の歴史においても最古の自己表現方法のひとつであり、自らの肉体のみを使用する最も直接的な演奏行為である。この研究領域では、「歌う」という行為を音楽化、芸術化するために、必要な知識や技術を追求する。

⑥器楽研究領域

器楽演奏家と演奏の間には「作曲」と「楽器」が介在することを常に認識し、楽曲に対する理解、歴史的あるいは近代的な奏法、演奏様式の変遷など、器楽演奏に必要な知識、技術を追求する。

■ 教育課程

音楽研究科音楽芸術表現専攻の教育課程は、①音楽表現総合研究 ②音楽表現各論 ③音楽表現特別実習 ④専門分野特論 ⑤研究領域実技 ⑥課題研究 の6つの科目分野から構成される。詳しくはP12 大学院音楽研究科授業科目を参照のこと。

修業年限内に合計32単位以上^{*1}を修得し、修了審査に合格した者には修士（音楽）の学位を授与する。

※1 修了審査A方式を選択する場合：必修科目24単位・選択科目8単位以上

修了審査B方式を選択する場合：必修科目22単位・選択科目10単位以上

■ 修了審査

修了審査は、A方式（修士作品または修士演奏、及びそれらに関連する10,000字以上の副論文）またはB方式（修士作品または修士演奏、及びそれらに関連する5,000字程度のレポート）を、2年次進級時に選択する。B方式はA方式と比べて、修士作品または修士演奏の課題が多く課せられる。

修士作品・修士演奏は公開の場で発表する。研究指導教員を主査、それ以外の教員を副査として審査するほか、より公正で普遍的な評価のために、学外から招へいする専門家も審査に加わる。

A方式の副論文は、修了年次後期に中間発表を行い、12月中旬に提出する。論文指導教員と副査2名の計3名から審査を受ける。

B方式のレポートは、演奏芸術分野については修了年次12月中旬、創造芸術分野については修士作品提出と同時に提出し、研究指導教員・音楽研究科長及び音楽芸術専攻代表の審査を受ける。

■ 研究指導

大学院入学時に、研究指導を希望する教員と研究の目的・意義・方法・展望などについて十分に相談し、研究指導教員・研究テーマを決定する。選択科目の履修について、また他教員に実技等の指導を求める場合や修了審査におけるA方式／B方式の選択等についても、研究指導教員と綿密に話し合って決めること。

大学院音楽研究科授業科目

	授 業 科 目	単位数	要 求 単 位	
			A 方 式	B 方 式
音楽表現 総合研究	音楽表現総合研究Ⅰ	4	8 単位必修	8 単位必修
	音楽表現総合研究Ⅱ	4		
音楽表現 各論	キリスト教音楽	2	8 単位以上選択	10単位以上選択
	作品分析 A	2		
	作品分析 B	2		
	歌曲研究 A	2		
	歌曲研究 B	2		
	楽書講読Ⅰ	4		
	楽書講読Ⅱ	2		
	指導法研究 A	2		
	指導法研究 B	2		
	キリスト教学 a	2		
キリスト教学 b	2			
音楽表現 特別実習	オーケストラ特別実習Ⅰ	2		
	オーケストラ特別実習Ⅱ	2		
	ウインド・オーケストラ特別実習Ⅰ	2		
	ウインド・オーケストラ特別実習Ⅱ	2		
	オペラ特別実習Ⅰ	2		
	オペラ特別実習Ⅱ	2		
	室内楽特別実習Ⅰ	2		
	室内楽特別実習Ⅱ	2		
副専攻特別実習	1			
専門分野 特論	創造芸術特論Ⅰ	2	専門分野別に 4 単位必修	専門分野別に 4 単位必修
	創造芸術特論Ⅱ	2		
	演奏芸術特論Ⅰ	2		
	演奏芸術特論Ⅱ	2		
研究領域 実技	作曲実技Ⅰ	4	研究領域別に 8 単位必修	研究領域別に 8 単位必修
	作曲実技Ⅱ	4		
	声楽実技Ⅰ	4		
	声楽実技Ⅱ	4		
	器楽実技Ⅰ	4		
	器楽実技Ⅱ	4		
課題研究	副論文制作Ⅰ	2	4 単位必修	2 単位必修
	副論文制作Ⅱ	2		
			計 32	

修了審査	創造芸術分野	A 方式	修士作品（1 曲）＋ 副論文（10,000 字以上）	専門分野別に 定められた A 方式か B 方式 を選択
		B 方式	修士作品（2 曲）＋ レポート（5,000 字程度）	
	演奏芸術分野	A 方式	修士演奏*＋ 副論文（10,000 字以上）	
		B 方式	修士演奏*＋ レポート（5,000 字程度） * 演奏時間は別途内規に定める	

教 授

古 田 昌 子	声楽実技、オペラ特別実習、指導法研究
Xavier LUCK	器楽実技（フルート）、室内楽特別実習
松 本 薫 平	声楽実技、演奏芸術特論
松 浦 修	オーケストラ特別実習、ウインド・オーケストラ特別実習
なかにしあかね	作曲実技、創造芸術特論、作品分析、指導法研究
岡 田 将	器楽実技（ピアノ）、室内楽特別実習、指導法研究
佐 々 由佳里	器楽実技（ピアノ）、指導法研究

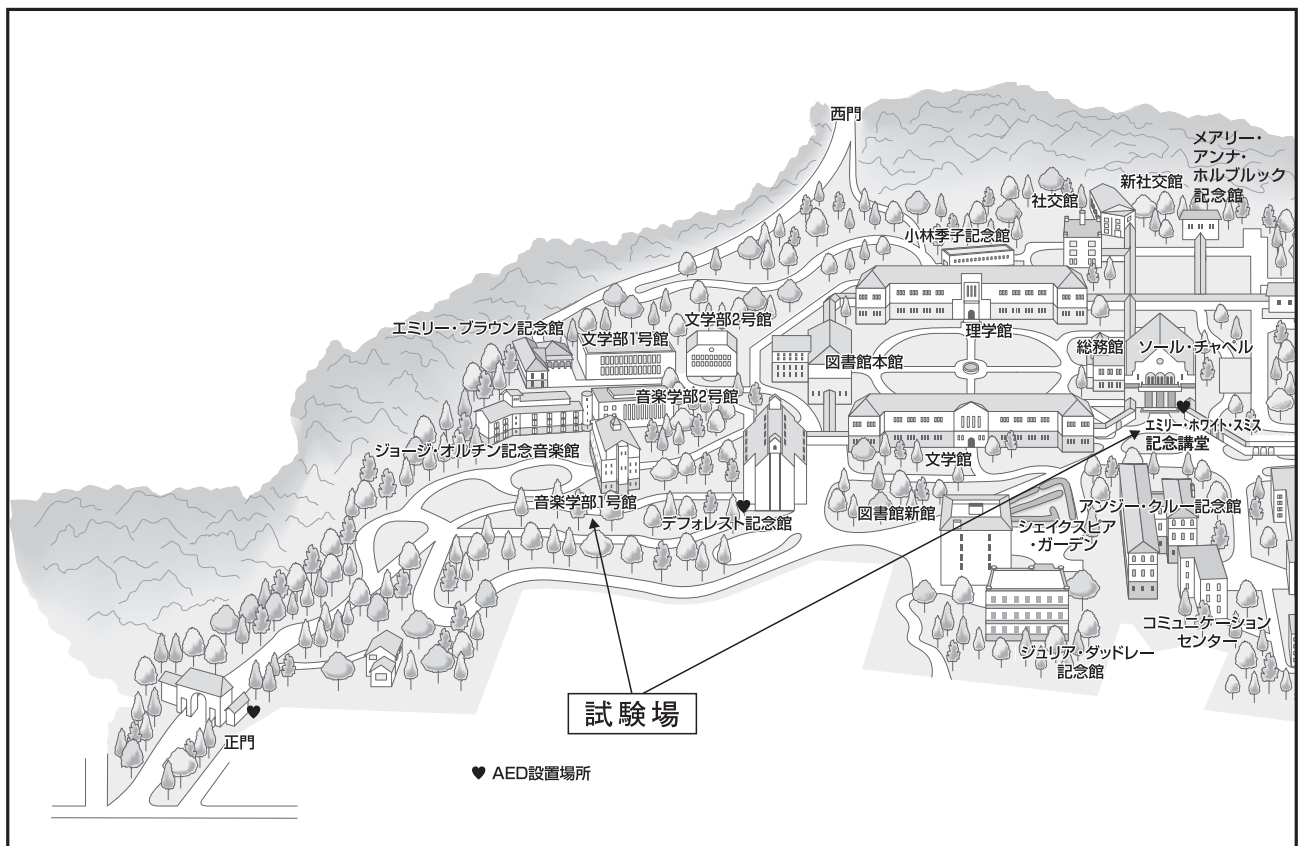
准 教 授

稲 本 渡	器楽実技（クラリネット）、室内楽特別実習、指導法研究
菊 本 恭 子	器楽実技（ヴァイオリン）、室内楽特別実習、指導法研究
崎 谷 明 弘	器楽実技（ピアノ）、演奏芸術特論、指導法研究、副論文制作

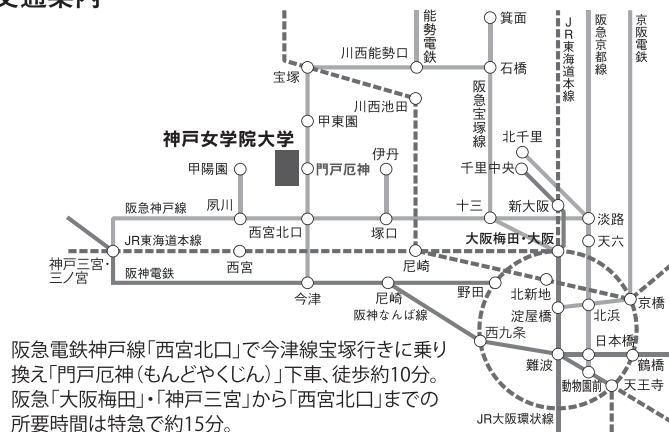
非常勤講師（2026年度授業担当者）

福 井 聡	器楽実技（バスクラリネット）
萩 原 寛 明	副専攻特別実習（声楽）
池 田 寿美子	器楽実技（ピアノ）
石 井 なをみ	器楽実技（ピアノ）
櫛 田 真須子	副専攻特別実習（声楽）
松 井 る み	歌曲研究
越 知 晴 子	演奏芸術特論
太 田 峰 夫	楽書講読
佐 藤 卓 史	演奏芸術特論
白 石 知 雄	楽書講読
鯛 中 卓 也	指導法研究
田 中 修 二	器楽実技（ピアノ）
寺 内 直 子	音楽表現総合研究
富 田 一 樹	器楽実技（オルガン）
津 上 智 実	副論文制作
若 林 千 春	演奏芸術特論
山 本 毅	キリスト教音楽
山 内 信 子	指導法研究

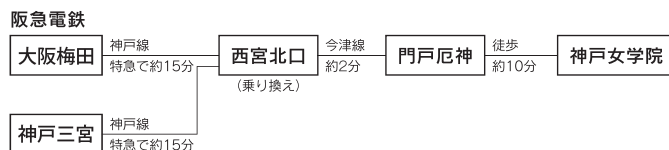
< 学内図 >



交通案内



阪急電鉄神戸線「西宮北口」で今津線宝塚行きに乗り換え「門戸厄神(もんどやくじん)」下車、徒歩約10分。
阪急「大阪梅田」・「神戸三宮」から「西宮北口」までの所要時間は特急で約15分。



道順



神戸女学院大学 音楽学部事務室

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4番1号 ☎(0798) 51-8550